民俗学者 沈雨晟先生の死去を悼む

山根 俊郎

私達むくげの会は、1980 年代から韓国の民俗学者であり自ら１人人形劇も演じられた沈雨晟（シム・ウソン）先生と親しくさせていただいた。

ここ数年は病床に臥せられていると伝え聞いていたが、遅きに失した感はあるが、先生が去年（2018 年）８月 23 日に死去されたことを最近知りました。謹んでご逝去をお悔やみ申し上げます。

2018 年８月 23 日付「連合ニュース」を翻訳します。

サムルノリの名前を付けた１人劇の巨匠

沈雨晟先生　別世（死去） 2018-08-23 21:36

男寺党輩（ナムサダンペ）を芸人集団に再定立…ユネスコ無形遺産登録の一等功臣（ソウル＝連合ニュース）キム・スンオク記者＝‘１人劇の巨匠’であり伝統民俗文化の研究・継承に生涯をかけた民俗学者沈雨晟（シム・ウソン）先生が（８月）２３日午後持病のため死去した。享年８４歳。

故人は光復（1945 年解放）以後に初めて 1959 年‘コクトゥカクシ ノルム（遊び）’を再演して、ケェンガリ・チャンゴ・プク・チンで演奏する民俗ノリに‘サムルノリ’という名前を付けたことでも有名である。

“いつだったか?若者４人が集まりケェンガリなどを叩いてノリベ（遊戯輩）をひとつ作りたいのでグループの名前を付けて欲しいと頼まれた。

民衆四物【農楽で使う打楽器４種類　クェンガリ（꽹과리/鉦）・チャンゴ（장고/杖鼓、長鼓）・プク（북/鼓）・チン（징/銅羅）】と佛殿四物【仏教儀式で使う打楽器４種類　ポプコ（법고/法鼓）・ポムジョン（범종/梵鐘）・モゴ（목어/木魚）・ウンパン（운판/雲版）】があるが「民衆四物で４名が遊ぶ」という意味で‘サムルノリ’（사물놀이・四物遊戯）と名付けた”

生前に故人は、民俗ノリの代表的なジャンルに位置づけられる‘サムルノリ’誕生についてこのように回顧した。

1978 年２月故人が公演企画者 兼演出家として参加した大学路小劇場‘空間舎郎’（コンガンサラン）で李光寿（イ・ガァンス）、金容培（キム・ヨンベ）、崔鐘実（チェ・ジョンシル）、金徳洙（キム・ドクス）によって初めてサムルノリが舞台にかけられ、故人は産婆役をうまく果たした。

1934 年忠南公州で生まれた故人は、1954 年からソウル中央放送（KBS の前身）でアナウンサーとして勤務するかたわら民俗学者 任哲宰（イム・ソクジェ 1903～1998 忠南 論山出身）の提案で民謡採録の道に進んだ。

以後、タルチュム（仮面劇）と農楽、民謡等を収集・研究した故人は男寺党輩を創団して理事長を引き受けた。彼は、過去にクァンデ（役者・俳優）、白丁（ペクチョン・被差別民）よりも蔑まれていた流浪集団'男寺党'（ナムサダン）を芸人に格上げした最大の功労者として演戯分野の民俗学開拓者という評価を受けた。

故人は男寺党輩の生と芸術を追跡・記録して直接演戯用仮面と人形を作っていき、彼らの演戯を芸術に再定立するのに人生を捧げた。特にパルタル（발탈/足に被る仮面）研究の一人者である。

故人の貢献がなかったら男寺党ノリ（ナムサダン演戯）が 2009 年ユネスコ人類口伝および無形文化遺産に登録されることもなかったということに一寸の異見もない。

故人は 1966 年韓国民俗劇研究所を設立して他界前まで所長職を歴任して 1996 年公州民俗劇博物館を設立して初代館長を務めた。公州民俗劇博物館には彼が生涯をかけて収集した各種仮面と人形、民俗楽器など民俗劇の関連資料１千余点が展示されている。

故人はまた、1987 年‘アジア１人劇協会’を作り、翌年にソウルパタンコル芸術会館小劇場で第１回‘アジア１人劇祭’を開催するなど１人劇俳優としても活動した。

代表作としては'沈雨晟１人劇場', '門', '長安散調', '無等散調', '南道野歌', '板門店別神グッ', 魂よ魂だな', '鳥よ鳥よ', '結婚グッ'などがある。

1967 年文化財庁 専門委員を務めて 1996 年には忠清南道文化財委員として活動した。引き続き 2001 年には文化財委員会副委員長 兼無形文化財第４分科委員長を務めるなど公職も数回引き受けた。

韓国芸術総合学校客員教授を務めるなど多くの大学で民俗学演劇史と人形劇を講義して、2003 年には大統領宝冠文化勲章を受勲した。

'男寺党輩研究', '無形文化財総覧', '韓国の民俗劇', 'わが国の民俗遊戯', '伝統舞踊用語の研究', 'マダングッ演戯本', '民俗文化と民衆意識', '民俗文化論序説'などの著書を出刊するなど著作活動にも邁進した。また、'朝鮮巫俗の研究', '朝鮮民俗紙','朝鮮工芸概観'など多数の翻訳書を残した。

遺族として息子ハヨン、娘キヨンがいて公州シングァン洞公州葬礼場 101 号に殯所を設けた。☎ 041-854-1122